

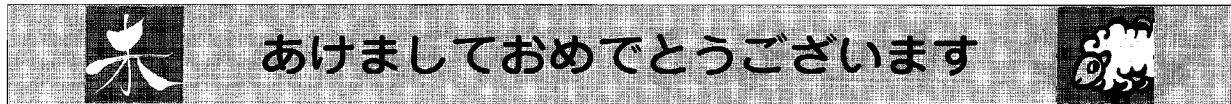
第 192 号

発行所 新潟市中央区新光町 15-2
新潟県公社総合ビル内

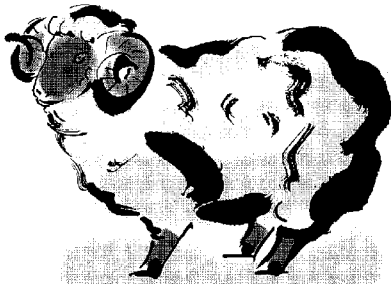
公益財団法人 新潟県危険物安全協会

発行者 理事長 遠藤 幹夫
編集者 事務局長 丸田 浩

印刷 (株)ハイングラフ



迎春



昨年中は大変お世話になりました
本年もよろしく願い申し上げます

平成27年 元旦

〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 県公社総合ビル内
公益財団法人 新潟県危険物安全協会

- 理事長 遠藤 幹夫
- 副理事長 中村 正
- 副理事長 北崎 和実
- 専務理事 丸田 浩

新年のごあいさつ



公益財団法人
新潟県危険物安全協会
理事長

遠藤 幹夫

明けましておめでとうございます。

会員事業所の皆様並びに御家族の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃より当協会の運営に対しまして多大なる御尽力、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年から続いている西之島を初め、御獄山や阿蘇山など多くの火山で活動が活発化してきており、また、県内にも被害があった長野県北部を震源とする地震も発生し、日本列島

全体が地殻変動期に入ったともいわれています。さらに、各地で豪雨が発生しており、改めて自然に対する驚異を感じる年でありました。

さて、県内の危険物施設の事故件数は平成25年に大幅に減少し、昨年も少ない状況が続いており、まことに喜ばしい限りです。是非、会員各位におかれましては、引き続き事故防止のための活動に積極的に取り組んでいただき、この傾向が続いて行きますよう精進をお願いいたします。

また、昨年8月に国による新たな日本海側の津波想定が公表され、これを受けて新潟県は津波浸水想定の見直し作業に着手することです。会員各位におかれましては地震や津波等自然災害に対する対応も進め、安全の確保に努めていただきたいと思います。

最後に、皆様の御多幸と益々の御発展をお祈りするとともに、当協会への変わらぬ御協力をお願いして、新年の御挨拶といたします。

《 当協会のホームページで講習の受付状況等について速やかにお知らせしています。 》
お申し込みの参考にしてください。

新春知事ごあいさつ



新潟県知事

泉田 裕彦

平成27年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

公益財団法人新潟県危険物安全協会並びに各地区支会・地区協会の会員の皆様には、日ごろから危険物の保安の確保にご尽力いただき、改めて感謝を申し上げます。

昨年は、2月に開催されたソチオリンピックにおいて、本県から3人のメダリストが誕生するという嬉しいニュースから1年が始まりました。本県が実施してきた「新潟から世界へ夢プロジェクト事業」の対象者も含まれており、世界に羽ばたく選手を育成する取組が一定の成果を上げたものと、大変喜ばしく感じております。

また、4月～6月の3か月間、全国規模の大型観光キャンペーン「新潟デスティネーションキャンペーン」が開催されました。消費税増税直後の開催にもかかわらず、観光入込客数は前年を上回り、多くの方から新潟の魅力を感じていただけたと思っております。

昨年は、新潟地震から50年、新潟焼山噴火から40年、そして7.13水害、中越大震災から10年という、大きな節目の年でもありました。被災された方々の様々な思いに触れ、県民の皆さまの生命、安全、財産を守る気持ちをより一層強くするとともに、これまでのご支援に対する恩返しの意味でも、新潟の知見や教訓を広く発信し、各地の復興の取組や災害への備えに貢献していきたいと改めて感じたところです。こうした中、6月には、天皇皇后両陛下にご臨席賜り、中越大震災の被災地を会場として「第65回全国植樹祭」を開催致しました。本県にとって、この大会はまさに復興から新たな未来の創造へのシンボルであり、震災から復興した新潟の姿は、東日本大震災からの復興の希望としても見ていただけたのではないかと感じております。

10月には海洋エネルギー導入の第一歩として、粟島沖で「潮流発電装置」の実証試験が行われました。地球の呼吸から生み出される海洋エネルギーは安定的な電源となる可能性を秘めており、本県での取組が、地球環境問題や地域経済の活性化に大きく貢献していくことを期待しております。また、11月に新たな太陽光発電所の運転を開始するなど、再生可能エネルギーの導入促進にも努めているところです。エネルギーは本県の発展に大きな可能性をもたらす重要な要素であることから、上越沖に存在が確認されているメタンハイドレートも含め、多様な地域資源の利活用の可能性を追求して参ります。

一方、県民の皆様の安全・安心を確保することも大きな課題です。1月には三重県四日市市の化学工場で作業中に爆発火災が発生し、多数の死傷者が出

る大惨事となりました。県では、作業の危険性評価とそれに基づく作業手順の作成及びknow-whyを含めた作業員教育が重要と考え、貴協会と共に「危険物実務研修会」を開催し、同種事故の再発防止に努めております。

6月には、地震・津波災害を想定した石油コンビナート防災訓練も実施したところであり、今後も引き続き危険物施設に係る安全対策に取り組んで参ります。

貴協会並びに各地区支会・地区協会の会員の皆様におかれましても、これまでも増して危険物施設の保安管理の充実・強化に努められ、事故の未然防止の徹底を図られますようご尽力をお願いする次第です。

さて、経済動向に目を向けますと、昨年4月の消費税率引上げ以降、実質国内総生産が2期連続マイナスとなるなど、消費税増税が日本経済に大きな影響を与えていることが窺えます。輸出型の大企業では業績改善の動きが見られるものの、地方においては景気回復の実感が乏しい現状にあり、多くの中小企業では原材料価格の上昇等による収益の悪化も懸念されています。また、一部業種においては人材不足等の経営課題を抱え、今後の企業活動の阻害要因となることも懸念されております。こうした状況を踏まえ、県としましては、経営面でのセーフティネット対策に万全を期した上で、中小企業が多い本県の経済構造を踏まえたきめ細かい施策の展開に努めて参ります。

また、本年は、喫緊の課題である人口減少対策により一層尽力して参ります。本県の人口は平成9年をピークに17年連続で減少し続けており、自然動態、社会動態ともに前年より減少幅が拡大している状況にあります。全国的にも人口減少問題に対する危機感が強まっており、国も人口減少や地方都市衰退等の課題克服に政府一丸で取り組む姿勢を打ち出しているところです。県としましては、現在検討を進めている少子化対策モデル事業を実行に移すなど、人口問題対策会議の議論を施策に的確に反映させ、できる限りの対策を講じて参ります。

さらに、3月にはいよいよ北陸新幹線が開業致します。関西圏との時間・距離が縮まることを受け、昨年4月に関西情報発信拠点「じょんのび にいがた 食楽園」を大阪市内に開設したところです。関西圏からのお客様が増えたという声もいただいております。今後も関西情報発信拠点を中心とする取組が本県への誘客に大きな効果を生むことを期待しております。首都圏はもちろん、関西圏を始めとした地域との交流も積極的に進めていくことで、北陸新幹線開業が本県全体の活性化に資するものとなるよう取り組んで参ります。

県政をめぐる様々な課題もありますが、本県は、未来に向かって環境を整えることで大きく可能性を開かせる潜在力を持った県であると考えております。県民一人ひとりが希望を抱き、未来を描くことのできる地域社会の実現に向けて、本年も全力を注いで参ります。

結びに公益財団法人新潟県危険物安全協会並びに各地区支会・地区協会の会員の皆様のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつと致します。

第28回新潟県保安大会開催（保安功労者等の知事表彰）

新潟県と新潟県保安関係団体協議会（構成6団体）の共催により、平成26年10月17日（金）に、第28回新潟県保安大会が新潟県知事（代理：池田千絵子副知事）出席のもと、県議会議長、県警察本部長、県消防長会会長（新潟市消防局長）を来賓に迎え、大会関係者約150人が参加して、県庁講堂で開催されました。

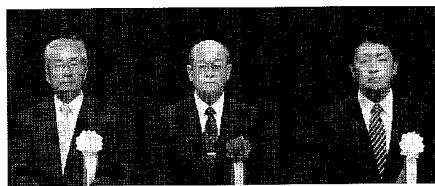
今年度は、当協会が協議会の会長団体であるため、協議会を代表して遠藤幹夫理事長が「保安関係団体が一体となって自主保安体制の確立と保安技術の向上になお一層真摯に取り組んでいかなければならない」と決意を表明し、大会が始まりました。池田千絵子新潟県副知事の挨拶、大会宣言の採択の後、表彰式が行なわれ、当協会からは、上越ツバメ石油株式会社（代表取締役金澤光教 糸魚川地区支会）が優良事業所として、滝沢俊昭氏（株式会社岡部商事堀之内給油所所長 魚沼地区支会）が優良従事者として、新潟県知事表彰の栄誉に輝きました。

受賞者を代表して当協会の上越ツバメ石油株式会社の金澤光教代表取締役が謝辞を述べました。栄えある表彰は、受賞されました方々の災害防止に対する不断の努力の賜物であり心からお慶び申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

第28回 新潟県保安大会



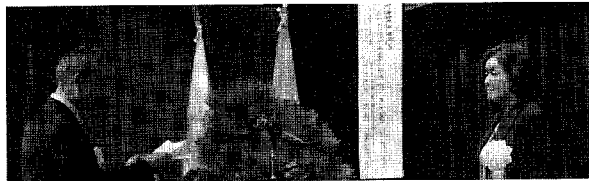
池田千絵子副知事を囲んでの記念撮影



左から金澤光教氏、遠藤幹夫理事長、
滝沢俊昭氏代理岡部圭助氏



上ノ山徹
県消防長会会長



受賞者謝辞



大西金吾講師

表彰式終了後、「輝いて生きる～ストレスとの上手なつきあい方」という演題で、一般社団法人新潟県労働安全衛生医学協会常務理事大西金吾さんの記念講演がありました。

朝希望に目覚め、夕べに感謝で眠れる幸せが健康な心の状態であり、そして生きがいと感動する心を持ちましょう、人生は「教育」と「教養」が大事（人生は「今日行く」ところと「今日用がある」ことが大事という意味）と講師の軽妙な話術に、会場は笑いに包まれ、一時間の講演が短く感じました。保安や安全に携わる者にとっては心と体の健康が第一であり、ストレスとのつきあい方についての講演は、大変有意義でした。

賛助会員のご紹介 ～賛助会員募集中～

賛助会員として入会されました皆様をご紹介します。当協会の公益事業に御理解をいただきまして感謝申し上げます。

◎法人（五十音順、敬称略）

- ・名称：有限会社 エステック 代表者氏名：代表取締役 五十嵐 昇
住所：〒950-2023 新潟市西区小針1502 番地 3
電話：025-230-7007 Fax：025-230-7009
業種：地下タンク等定期点検認定事業者、移動貯蔵タンク定期点検認定事業者
- ・名称：有限会社 オイルメンテナンス新潟 代表者氏名：代表取締役 野上 了
住所：〒950-0063 新潟市東区上王瀬町1 番50号
電話：025-279-0050 Fax：025-279-0051
業種：地下タンク等定期点検認定事業者
ホームページアドレス：<http://e-abura.jp/>

◎個人（五十音順）

県庁防災局消防課有志、丸田 浩、百都 政弘

当協会では、年間を通じて賛助会員の募集を行っております。賛助会費は税制上の優遇措置が受けられますので、当協会の活動に御理解をいただきまして、御支援を賜りたくお願い申し上げます。申込方法等はホームページをご覧ください。

協会ホームページのURL が変わりました。
新URL <http://niigata-kiankyo.sakura.ne.jp>

お手数をお掛けいたしますが、「ブックマーク」や「お気に入り」に登録されていた方は変更をお願いいたします。

危険物実務研修会を新潟、上越の2会場で開催

当協会が新潟県危険物事故防止連絡会と共催している危険物実務研修会を、11月25日(火)に新潟市「トラック総合会館」で、11月26日(水)に上越市「上越市市民プラザ」で、事故防止をテーマとして開催いたしました。

開会にあたり、県防災局消防課梅津課長補佐（新潟会場）、上越地域消防事務組合消防本部小林予防課副課長（上越会場）からご挨拶をいただいた後、消防課予防係の渋谷専門員、高圧ガス保安協会の赤塚高圧ガス部審議役から御講演をいただきました。いずれも大変有意義な内容でしたが、特に赤塚氏は統発した化学工場の事故調査に深く関与されていたこともあり、貴重な教訓をいただきました。

両会場あわせて約210名の受講者があり、熱心に受講されていました。

両氏の講演の主な内容は、以下のとおりです。

1 渋谷辰雄氏「県内の危険物事故の概要について」

当県では危険物施設数は減少（10年間で2割減）しているものの事故件数は毎年40件程度で推移していたが、平成25年は28件と大幅に減少した。これは皆様の事故防止への取組の成果であり、是非この傾向が継続されるよう引き続き取り組んでいただきたい。事業者は、法令が求める安全基準に留まらず、自主的な安全基準も積極的に取り入れて事故防止に万全を期す責任があると思っている。

平成26年に発生した県内事故事例から得られる教訓として以下のことが挙げられる。

- (1) 地下タンク、地下配管からの漏えい事故については、日常の点検、管理が重要である。配管については、漏れるまで使うという考え方を改め、計画的な更新を進めていただきたい。
- (2) 移動貯蔵タンクへの注油作業でその場を離れ、オートストップ機能が働かずに溢れさせる事故が後を絶たない。監視はただ見ているだけで時間の無駄と考えるのではなく、重要な業務であるという認識を持つとともに、やむを得ず離れる場合は必ず中断することを徹底させてほしい。
- (3) 化学工場で定期修理中に発生した火災事故では、協力会社の従業員が操作の目的を理解しておらず、火傷を負った。作業を外注する際には、それに見合った作業手順書を整備し、作業の監視態勢を強化しないと安全を確保できないことを銘記する必要がある。

2 赤塚広隆氏「最近の死亡爆発火災事故について」

近年の化学工場での重大事故の統発（平成23年11月～今年1月までの4件）は過去に殆ど例がなく、昭和48、49年以來と感じている。事故原因等は詳細な報告書にまとめられており、共通する要因は以下のようにまとめられる。

- (1) 非定常運転（作業）のリスクアセスメント（以下RAと記す）の実行と、対応の検討がない。
- (2) 取扱い物質の物性、化学反応の知識、温度の検出と制御の技術、安全化処理などについて、組織としての情報共有がない。
- (3) 設備の増強、変更時にRAがきちんと行われておらず、温度の検出や反応の制御の失敗につながった。
- (4) 組織的、人的要因として、「トップ企業としての技術力の過信」がある。また、情報の活用とRAの実行に取り組む専門の組織と人がいないため、類似事故が繰り返され、過去にあったトラブルの原因究明が行われていない。

また、一連の事故調査に関与して、以下のことを懸念として感じている。

- (1) ルール軽視が依然としてある。より良いと考えたことを、ルールに従わず、また相談もせずに実行してしまう。
- (2) 教育が不足している。人の技術力は教育、訓練によって身に付くものであるが、教育を受ける人材の確保と育成が必要である。（プロセス全体を把握する技術者の不在、技術伝承が不十分、ノウハウ教育が不十分、危機対応能力の弱化）
- (3) 会社としては「トラブルがあればシャットダウンさせる」と言われるが、現場では生産性優先の風潮があるのではないか。
- (4) 他事業所、他社を含めた運転経験、トラブル、事故の情報の活用がない。（同様なトラブルでの成功事例、設備トラブルの情報、異常反応の可能性などの重要な情報が共有されていない。）



梅津 了 氏



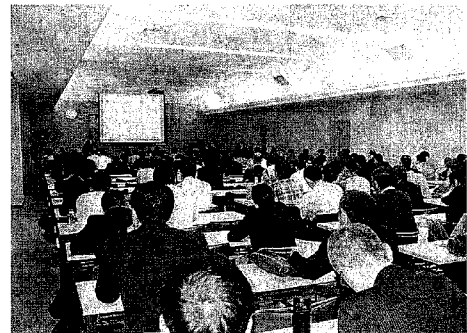
小林 亨 氏



講師 渋谷 辰雄 氏



講師 赤塚 広隆 氏



研修会場全景（新潟会場）

工事（定期修理）や解体作業中の事故を防ごう！

防災局消防課

平成26年1月に化学工場での設備の開放洗浄作業中に、作業員5名が死亡、12名が重軽傷を負う爆発事故が、3月には石油精製工場で定期修理中に6名が負傷を負う火災事故、さらに発電所でも屋外貯蔵タンクの解体工事中の火災事故が発生するなど、全国で工事等を行っている時の事故が発生しています。

県内でも、平成26年9月に化学工場で定期修理に伴う洗浄作業中に作業員1名が火傷を負う事故が発生した他、毎年工事（定期修理）中の事故が発生しています。

工事などの非常作業時は、次のように通常の運転時と比べて格段に危険性が高くなっていることをしっかりと認識し、「リスク要因の抽出・評価」を確実に行って、安全対策を講じる必要があります。

- ・施設を管理していない協力会社が行う事が多い。
 - 確実な計画及び手順書の作成（計画変更時の対応を含む）、
 - 明確な責任体制、的確な指示、工事状況の監視、作業員への教育
- ・配管、バルブなどが通常と異なる状態となる。
 - 工事範囲の完全な分離（遠隔操作弁での分離は不可）、他部署との連絡調整、
 - 表示の徹底、開始時と終了時の確実な最終確認
- ・火気を使用することが多い。
 - 火気管理規定の遵守、火気使用箇所の区画、危険物の完全な除去

なお、全国でのこのような事故の続発を受けて消防庁から通知が出されており、その概要は下記のとおりですので、万全な作業計画と、作業に携わる者全員に徹底した安全教育を行い、事故を未然に防ぎましょう。

1 危険物施設等で定期修理や解体作業を行う際には、

- ① 残存する危険物、可燃物及び可燃性ガスを可能な限り除去すること。
 - なお、重油等の引火点が比較的高いものであっても、火気の使用等により加熱することで容易に着火する可能性が高いことに留意すること。
- ② タンク等の洗浄等を十分に行った上で、危険物や可燃性蒸気が存在しないこと、その他安全を十分に確認してから解体作業を開始すること。
- ③ 除去しきれない危険物等の残さ等がある可能性があることを踏まえ、火気の使用を極力控えるとともに、火気を使用せざるを得ない場合は、当該残さ等に着火しないよう、万全の対策を講じること。
- ④ 危険物等の除去作業を含め、次に掲げる必要な安全対策等に関する作業手順書等が適切であることを確認すること。
 - ア 監視体制
 - イ 消火体制
 - ウ 万一事故があった場合の作業者の避難措置
 - エ その他当該作業において考えられる危険性等に備えた対策
- ⑤ 作業に携わる社員、実施業者の作業員等全員に前述の①～③に関する安全教育を行い、安全対策等の徹底を図ること。
- ⑥ 危険物である廃油等の処理を処理業者に委託する場合には、当該処理業者にその廃油等の名称、性状及び安全な取扱い方法に関する情報を提供すること。
- ⑦ 危険物である廃油等を運搬及び処理する場合には、反応する恐れのある物質等との混合を避ける等、安全に十分留意すること。

2 点検・保守等の作業を実施する際には、

- ① 当該設備で取り扱っている化学物質（危険物を含む）の性状、作業環境等を踏まえた危険要因を洗い出すとともに、作業手順等が当該危険要因を排除するために有効であることを確認すること。
- ② 火災危険性を有する物質（危険物を含む）が残留している状態で点検・保守作業を行う場合は、点検・保守作業に伴う圧力変化、温度変化、洗浄剤等使用する物質等により火災危険性が增大することがないことを確認すること。
- ③ 点検、改修等の作業中に事故等危険な状態となった場合の緊急停止措置や従業員の避難措置等の応急対策等が適切なものとなっていること。
- ④ 作業に携わる者全員に保安教育を実施して安全確保の徹底を図ること。



三条市危険物安全協会

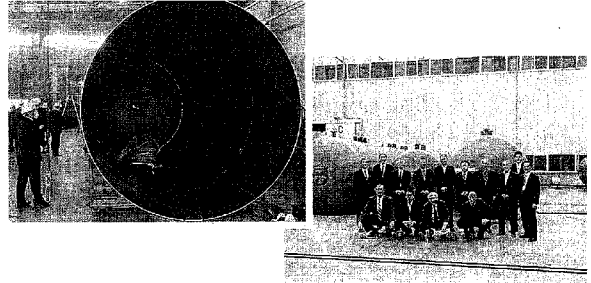
玉田工業株式会社関東工場視察

平成26年11月5日(水)に会員による研修視察が行われました。今年度は栃木県鹿沼市にある玉田工業株式会社関東工場を視察しました。

玉田工業株式会社は、危険物施設の設計・施工、および地下タンク・防火水槽の設計・製造を主な事業としており、特にSF二重殻タンクの製造・開発は国内トップシェアを誇る企業で、製造工場は全国に3か所あります。今回は、そのうちのひとつである関東工場を訪問し研修を行いました。

東京電力福島第一原子力発電所で、放射性物質の混入した汚染水を貯めるタンクを生産・出荷したことや施設の概要の説明を受けた後、防火水槽・SF二重殻タンクの製造工程を視察しました。

参加者からは、普段見ることのできない地下タンクの製造工程が見学でき、大変有意義な研修視察であったとの感想をいただきました。



長岡危険物安全協会

協会設立60周年記念式典を挙行

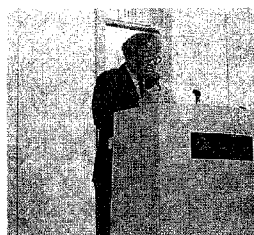
長岡危険物安全協会の設立60周年記念式典が、平成26年5月9日(金)ホテルニューオータニ長岡(長岡市市町2丁目)において挙行されました。

定例総会後、「河井継之助と長岡商人」の演題で稲川明雄 河井継之助記念館長から講演をいただき、先達の功績に改めて感銘を受けました。

引き続き行われた記念祝賀会では、長岡市長、新潟県危険物安全協会事務局長の御祝辞をいただき、また、全危協理事長から60周年を記念して感謝状の贈呈も行われました。

和やかな雰囲気で行った記念式典は、参加者一同、心新たに公共の安全確保を目指し盛会裏に散会しました。

協会設立60周年記念祝賀会



稲川明雄 河井継之助記念館長の記念講演

「灯油の流出事故防止」と「ストーブの適正使用」に御協力をお願いします!

県からのお願い

ストーブ等暖房器具の使用機会が増える冬季は、毎年、河川などへの灯油の流出事故や火災が多発します。

県では、事故や火災の発生を防止するため、関係機関・団体と連携し、県民の皆様にはチラシやテレビ等により事故防止を呼びかけています。

地区支会・地区協会の皆様におかれましては、お客様へ、「ホームタンクからの小分け中はその場を離れないこと」や、「ストーブの周りに燃えやすい物を置かないこと」などを周知して下さるようお願いいたします。

あっ! 忘れてた!

油大敵断

ホームタンクからの小分け中はその場を離れない!!

- × 急いで設備を離れ室内へ戻る
- × つかって来た電話に出るため離れる
- × 給油後、バルブをしっかりと閉めない

火の用心!!

ストーブなど火の取扱いに注意しましょう。

※冬期間はストーブによる火災が増加

ホームタンク 69件(42%)

油を漏らしてしまったり、元栓を閉め、流れ出ないように応急処置し、最寄りの消防署、市町村役場や県の地域協働に通報しましょう。

新潟県

皆さんにお願いしたいこと

- ①ホームタンクからの小分け中はその場を離れない
- ②給油後はバルブをしっかりと閉めたことを確認
- ③降雪前にホームタンクからの配管に異常がないか点検
- ④積雪でホームタンクや配管を傷めないよう注意
- ⑤油が流出したら、元栓を閉め、流れ出ないように応急処置
- ⑥ストーブへの給油は、火を消してから
- ⑦ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

平成26年度第2回地区支会事務局会議開催

平成26年12月4日(木)、新潟市「トラック総合会館」において、12月県議会開会中でご多忙の中、県防災局消防課大野副参事、渋谷専門員のご参加をいただいて開催しました。

会議の冒頭、県防災局消防課大野副参事から保安講習に関して、保安講習開催に当たり、地区支会・地区協会から保安講習の講師派遣にご協力をいただいていることへのお礼と危険物取扱者の保安意識の向上、技術的レベルの向上のためには、現場の皆様からの講義が有用であるので引き続き御協力をいただきたい。また、県内の危険物施設での事故に関して、今年度はこれまで25件の発生であるが、昨年の28件より減少し、一昨年の40件よりは大幅に減少している。お集まりの皆様の日頃の活動の賜物であるとお礼の挨拶がありました。

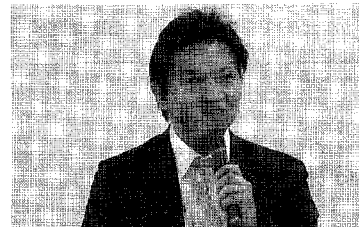
会議では、平成26年度の協会業務が地区支会・地区協会のご協力もあり順調に進んでいることを報告すると共に、平成27年度の主要行事の予定や、受験準備講習、保安講習の実施方針等について説明しました。

受験準備講習は、「1日の方が参加しやすい」というアンケート結果もあり、来年度も1日講習、土日開催、夏休み開催を今年度に引き続いて実施する方針です。

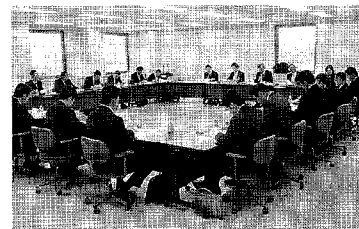
今年度の保安講習の見込み人数は、給油講習の受講者が大幅に減少していることから当初見込んだ5,000人を若干下回るものと見込んでおります。

平成27年度の保安講習の計画は、基本的には、日程、会場とも概ね今年度と同様の計画で進めていますが、給油講習の受講者数が減少してきていることを受け、開催回数が今までどおりでよいのか今後検討していきたい旨説明させていただきました。

事務局で用意した議題につきましては、了承されましたので、来年度の事業計画としてまとめ、理事会の承認を得てまいります。



大野 勝之 氏



平成26年度 企業・専任講師会議を開催

平成26年12月10日(木)、当協会の企業・専任講師会議を開催し、平成26年度の受験準備講習、保安講習の実施状況、平成27年度の講習計画等について説明しました。

受験準備講習については、事務局からアンケート調査結果について説明を行いました。各科目の講義時間は約3時間で、重点事項に絞った説明としていますが、講義の感想としては約6割の方からは「丁度良かった」、約2割の方からは「もっと詳細な説明が必要」という評価をいただきました。また、プレゼンテーションソフトも利用していますが、この主目的である「試験に重要な部分がわかった」方は各科目とも8割以上に達しました。

事務局から講師に対して試験の重点項目を示すとともに、プレゼンテーションソフトを使用した視覚資料も利用したことにより、受講者にとってより分かりやすい講義となったものと思われます。

一方、一部の受講者から「ペースが速い」「要点を絞った説明を」などの意見も寄せられていますので、今後とも講義方法を工夫し、受講生に自信を持たせて合格率アップに繋げていくこととしました。

受験準備講習会に参加しませんか!!

危険物取扱者乙種第四類試験受験準備講習会は、より受講しやすい講習会としています。今年度は、2月に開催する1日半の講習会(詳細はP8参照)のみとなりましたが、来年度も同様の開催を継続する予定です。

1 土日開催

平日は仕事等の関係で参加しにくい方のために

2 1日修了コースの開催

1日半の講習では日程がとりにくい方のために

3 夏休み期間中の開催

就職活動に役立てたいが、学期中は受講しにくい学生・生徒さんのために

また、講習会で受講者をお願いしているアンケート調査の結果は、上記の「平成26年度 企業・専任講師会議を開催」にあるとおりで、多くの受講生から好評をいただいております。

今後とも、受講生の要望である「試験対策に徹した講習」となるよう、出題傾向を念頭に置いたメリハリのある講習としていきます。

講習会への参加、資格の取得は従業員のスキルアップにもなりますので是非受講をご検討ください。

合格への近道 受験準備講習のお知らせ

平成26年度最後の危険物取扱者試験は、平成27年3月7日に行われます。

当協会では、下記のとおり乙種第四類の受験者を対象として受験準備講習会を開催しますので、是非参加されまして合格を目指してください。

講習内容は、より試験対策に徹した、要点を絞つ

た内容としており、多くの方々からご好評をいただいております。

受講申込書は、各地区支会・地区協会事務局、消防本部・消防署、及び当協会に用意してあります。

また、講習についてのお問い合わせは、当協会又は最寄りの各地区支会・地区協会事務局へお願いします。

平成26年度最終の乙種第四類受験準備講習会日程

講習日	講習会場	定員	申込受付期間
1月29日(木)~30日(金)	長岡新産管理センター	80	12/26(金)~1/22(木)
2月3日(火)~4日(水)	新潟テクノスクール	100	12/26(金)~1/27(火)

講習時間 1日目：午後1時30分より午後4時30分まで（物理／化学）
2日目：午前9時30分より午後4時30分まで（燃焼消火／性質等、関係法令）

〈参考〉平成26年度最終の危険物取扱者試験日程

試験日	受付期間		試験の種類	試験実施地
	電子申請	書面申請		
平成27年3月7日(土)	1月10日(土)~1月25日(日)	1月13日(火)~1月28日(水)	全種類	新潟市、長岡市、上越市

(注) 試験のお申し込み先は、(一財)消防試験研究センター新潟県支部 (☎025-285-7774) です。

平成27年度当初の乙種第四類受験準備講習会の計画 (案)

平成27年度当初の受験準備講習は、下記のとおり予定しております。

日程が変更となる場合もありますので、詳しくは、

3月下旬に発行する平成27年度の「受験準備講習会案内」や当協会のホームページをご覧ください。

なお受講料は据え置く予定です。

講習日	講習会場	定員	申込受付期間
4月22日(水)~23日(木)	新潟テクノスクール	100	4/1(水)~4/15(木)
4月23日(木)~24日(金)	上越市市民プラザ	100	4/1(水)~4/16(木)
4月28日(火)★1日講習	長岡新産管理センター	80	4/1(水)~4/21(火)

平成27年度最初の危険物取扱者試験日程 (案)

試験日	受付期間		試験の種類	試験実施地
	電子申請	書面申請		
平成27年6月6日(土)	4月19日(日)~5月5日(火)	4月22日(水)~5月8日(金)	全種類	新潟市、長岡市、上越市、佐渡市

(注) 試験のお申し込み先は、(一財)消防試験研究センター新潟県支部 (☎025-285-7774) です。

保安講習のお知らせ

保安講習の開催は、今年度は下記の講習会のみとなりました。受講義務のある方は、忘れずに受講してください。

受講申し込みに必要な、「危険物取扱者保安講習受講申請書」は、最寄りの消防本部・消防署、各地

区支会・地区協会事務局、当協会に用意してあります。

詳しくは、当協会、最寄りの消防本部・消防署、各地区支会・地区協会事務局又は県庁消防課にお問い合わせください。

平成26年度最終の危険物取扱者保安講習日程

講習日	講習会場	講習種別 ※			定員	受講申請受付期間
		一般(その他)	給油取扱所	コンビ		
2月17日(火)	新潟テクノスクール	午前			120	1/14(水)~1/28(水)
		午後			120	
2月18日(水)		午前		午後	各120	

※講習時間等 <午前の講習> 受付時間：9時00分~9時30分 講習時間：9時30分~12時30分
<午後の講習> 受付時間：1時00分~1時30分 講習時間：1時30分~4時30分

保安講習、受験準備講習とも定員に余裕がある場合は、受付期間終了後でも受け付けます。協会ホームページの受付状況をご覧になるか、当協会へお問い合わせください。